

装置の小型化・高機能化に貢献！

省スペース・省工数を実現するアンプ内蔵ミニ光電センサ新発売

IDEC 株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役会長兼社長：船木 俊之）は、2024年4月1日（月）より、アンプ内蔵ミニ光電センサを日本にて新発売いたしました。

近年、製造現場の自動化が急速に進展していることから、センシング機器の役割はますます重要になっており、装置の小型化に伴う小型センサの需要も拡大しています。光電センサには、小型化、検出距離の長距離化、精度の向上、応答時間の短縮といった多様な要求があるため、お客さまのニーズやご要望にお応えできるよう、IDEC では製品ラインアップの拡充を進めております。

狭いスペースにセンサを設置する場合、ファイバセンサが使われるケースが多いですが、センサヘッドとは別にアンプを設置するためのスペース必要となるだけでなく、導入コストの高さや設定の複雑さなどが課題となっていました。

今回新発売するSA1N形は、アンプ内蔵のためアンプを置くスペースが不要で省スペース化を実現できるだけでなく、省コスト、省工数での導入が可能となり、今までファイバセンサを選択されていたアプリケーションにも取り付けることができます。

用途によってご選択いただけるよう、拡散反射型のファイバタイプと、限定反射型の角形タイプをご用意しており、出力形式もNPNとPNPの2タイプラインアップしております。検出距離はファイバタイプが3-50mm、角形タイプが5-30mmとなっており、狭いスペースで通過検知や有無検知、位置決め、数量カウントなどを行うアプリケーションに最適な製品となっております。

IDEC では、人と機械の関係変化に伴い、最適なインターフェースの在り方が変化することを HMI-X（Human-Machine Interface Transformation）と定義し、HMI-Xを実現する多様な製品群をラインアップすることで、さまざまな作業現場で働く人々の、安全・安心・ウェルビーイング向上を実現できるソリューションを提供しています。今回、小型センサとして新たにSA1N形がラインアップに加わることで、お客さまへの提案の幅が広がります。今後も、HMI-X実現に向けた新製品の開発、販売を推進してまいります。



アンプ内蔵ミニ光電センサ「SA1N形」
（左）ファイバタイプ
（右）角形タイプ

主な特長

省スペース化を実現

- ファイバタイプはM6サイズ取付、角形タイプは14mmピッチ取付となっており、**汎用センサでは設置できない狭いスペースにも設置可能**です。
- アンプ内蔵のため、アンプを置くスペースが不要となり、**設置スペースを大きく削減**できます。

感度調整が可能

- 本体に**感度調整ボリュームが付いている**ため、簡単に設定を変更できます。



このリリースに関するお問い合わせ
 IDEC 株式会社 経営戦略企画本部 コーポレートコミュニケーション室 元山理映子
 (TEL) 06-6398-2505 (Email) rieko.motoyama@idec.com

高い耐環境性能

- ファイバタイプは、SUS 製ハウジングと樹脂充填により、**IP67 の高い耐環境性能を実現**しました。

■ 主な仕様

形番	SA1N-DN1VF50-2M	SA1N-DP1VF50-2M	SA1N-GN1V30-2M	SA1N-GP1V30-2M
タイプ	ファイバタイプ		角形タイプ	
検出方式	拡散反射形		限定反射形	
検出距離	3-50mm		5-30mm	
検出形式	NPN 出力	PNP 出力	NPN 出力	PNP 出力
投稿素子	赤外 LED		赤色 LED	
応答速度	0.5ms 以下			
保護構造	IP67 (IEC60529)		IP64 (IEC60529)	
使用周囲温度	-25~55℃			
標準価格	オープン価格			

■ アプリケーション例

- 通過検知・有無検知



- 位置決め・数量などのカウント



以上